

news

1

## 「参院選の投票率アップに一役かって」 ～県内初の「選挙セール」街頭キャンペーンを実施～

7月29日(日)に開票した参議院選挙に併せて、県内で初めての「選挙セール」を実施する七尾の4つの中心商店街は共同して街頭キャンペーンを行い、市民にアピールしました。この「選挙セール」は、七尾市選管が発行する投票済証を持参すると景品や割引等のサービスが参加加盟店から受けることができ、投票率アップと商店街のPRにつなげようという企画です。

街頭キャンペーンは、七尾駅前パトリア前でわれ、七尾商店街連合会の新城会長はじめ、駅前リボン通り、一本杉通り、中央通り、東部商店街の役員がそろいのTシャツを着て買い物客等に投票を呼びかけると共に、商店街の選挙セールのPRも積極的に行うなど、大いにアピールしました。



おさそい

七尾中央通り商店街で

### 「えびす祭り市」

～豊魚と魚に感謝!!

七尾の食文化ここにあり～

豊魚と魚に感謝するえびす講まつりは、港と魚につながる七尾の食文化を語るうえで大事な伝統行事。えびす講のPRをおこなうほか、各商店が出店する市が開かれ、鮮魚さばき方の実演や魚切り身の提供のほか多彩な行事がおこなわれます。

日時 平成19年10月28日(日)

場所 七尾市作事町・七尾中央通り商店街

### <七尾商店街は頑張っています>(商店街の近況)

・七夕まつり写生大会(7月7日)は、大勢の元気な子どもたち(お母さん同伴)が参加し、盛況のうちにおこなわれました。39年間市民・子どもたちに見守られ、年中行事として定着しています。まちなかには、七夕が涼しげにたなびいています。またお年寄りにやさしい商店街づくりがはじまっています。店の前に赤い毛せんを敷いた「長いす」が置かれ、休憩に雑談に交流の場として活用されます。

(七尾駅前通り商店街振興組合)

・一本杉通り千年憲章が制定されました。(一本杉通りまち育て委員会)まちの魅力発信に貢献。「向う三軒両隣の章」「四季の章」「五感の章」からなり、「明治から平成の街並みが息づく町」など地域の人たちが大事にしたいと感じている魅力が21条につながっています。

(一本杉通り振興会)

・買い物共通バス券の実験事業(9月1日から10月31日まで)がおこなわれます。商品券付乗り放題切符(のと鉄道と七尾商店街連携)。4・5月大型連休中の商店街活性化促進策としての初の試みがおこなわれており、今回、市内循環バスとして定着しているまりん号のコミュニティバスの利用促進にあわせ商店街でのお買い物を楽しんでもらい、まちなかの賑わい・活性化の仕掛けづくりを目指しています。

(七尾まちなか4商店街)

七尾商店街連合会

news

2

おさそい 輪島市本町商店街振興組合で

### 「ワイワイ天国」

～販促イベントで個店の魅力発信・まちなかに賑わい～

本町ストリートで輪島の魅力一杯の販促イベントが開催されます。射的、金魚すくい、ストラックアウトや綿菓子などの露天のほか、今年は、ワゴンセール、割引セールといった販促イベントです。それぞれのお店独自の特色を出した販促活動が展開されます。思わぬ掘り出し物が格安で手に入るかも。乞ご期待。

日時 平成19年10月6日(土)・7日(日)

場所 輪島市本町商店街 朝市通り

### <がんばる輪島>(最近の話題から)

・輪島市無形民俗文化財「三夜踊り」の前夜祭「復興三夜おどり」が初めて行われ、地域の人たちや観光客でまちなかが賑わいました(8月13日)。輪島まんなか商店街と朝市通りにつながる錦川大通りに編み笠姿に着物姿の組合員や保存会の人たちが笛や三味線の音に合わせて優美な踊りの輪を広げていました。(輪島市まんなか商店街振興組合)

・文芸「段駄羅」を楽しみながらまちなかぶらり散策。「輪島段駄羅通り」を整備(8月15日)。輪島市独自の言葉遊びでまちなかに回遊・賑わいを創出します。「ふらっと訪夢」-「駅前商店街・馬場崎商店街」-「工房長屋」-「本町商店街」-「錦川大通り」-「まんなか商店街」のタペストリーや街路灯などに作品が掲示されており、読み読みぶらり散策、まちなか回遊が楽しめます。(輪島市)

・日経MJ(8月20日刊)から民間調査会社による「地域ブランド調査2007」で最も魅力的なまちに輪島市は24位(前回65位)に急浮上。輪島塗などの産品に購入したい割合トップとか。様々な人々による復興支援の努力の賜ものと同時に健在輪島の底力のあらわれでしょうか。



# TOPIC 1

## 小松中央通り “商店街で野菜市”

JR小松駅から徒歩1分、東西に300mのアーケード街が小松・中央通り商店街です。

25年余り前、「SEIYU」が駅前に出店を期にアーケードを建設、現在は40店舗の専門店による通りとなっています。土居原町、鮎屋町、三日市、猫橋と4つの違った個性が一つとなった経緯が中央通り商店街にはあります。その中心にあったのは鮎屋町で、「鮎屋町商店街」という名称で、昔から地元密着型の食料品を中心にした商店街でした。



しかし、郊外型のSC出店、駐車場の問題等もあり、生鮮食品の店は昨年最後の店舗が閉店しました。高齢化する地方の商店街にあって、年配者の食料調達はいずれに課せられた一つの問かけです。これは今後益々深刻な問題になる中、商店街で野菜市を開くことになりました。小松・西尾地区で無農薬野菜をつくる数人の農家の方の協力を得て、昨年より、月に二回「西尾の野菜市」を開催しています。新鮮、採れたて、安心を売る野菜市は、地元の年配者だけでなく若い主婦の方にも好評で、11時開店ですが、30分程度でほぼ完売する日もあります。



今後は地元の食品を増やすことで、幅を持たせていくことが課題です。

毎月の野菜市の開催日時は、中央通りの柱に設置する15個の瓦版を利用して告知しています。野菜市は4月から12月上旬開催いたします。

小松中央通り商店街振興組合 理事長 寺口 一行



# TOPIC 2

## 第31回石引納涼夏祭りを終えて

毎年下馬広見に1000人を超えるお客様の来場があり、今年もいかにお客様に喜んでいただけるかを一番に考え、商店街役員、青年部、石引ふたば会、と幾度も会合を重ねてきました。

今年度は台湾の歌姫、寒雲さんのコンサートをメインとして地元ミュージシャンによるライブ、カラオケ発表会、子ども達のお祭り広場、野菜・果物の青空市など盛り沢山のイベントを用意して望みました。

しかし、台風5号の影響で朝から開催が懸念され、夕方からは風が強まり6時頃雨も降りだしてきました。私の記憶では夏祭り開催中の雨は初めてではないかと思われま。

1時間位で雨も上がり、なんとか無事夏祭りを終えることができました。

例年より人出は半減しましたが、台風の中でも予想以上に沢山のお客様に会場にいらしたことに改めて感謝しています。

今年度の反省点を踏まえて、来年、32回夏祭りに向けて石引商店街のチームワークで頑張っていきます。



ふたば会「青空市場」



お楽しみ「大抽選会」

石引商店街振興組合 専務理事 田矢誠一郎



# TOPIC 3

## 石引商店街（金沢）・ござれ市の一周年 ～地元の市・こころのふれあい市～

当店の駐車場が毎週土曜日に「ござれ市」場になってからもう早1年半経ってしまいました。自分の体を大切にしたい人たちのために、地元の農家の方が丹精こめて作った野菜、地元で取れる季節の山菜、日本各地の自然食品など体に良いと確信した商品を販売するスローフードの市場です。市場といっても乗用車が二台入位のスペースです。午前10時から午後3時までなのですが、9時30分位になると近所の方が「今日はなにか変わったものがあるけ〜」と来てくださいます。

今の時期ですと早朝に収穫した夏野菜類、季節の果物（菜園のもの市場のもの）、手作りの漬物、粕漬、特製のこんか鯨、おにぎりなどの愛情のこもった商品等です。そして、日本各地のこだわり商品、信州小川村のおやき、広島のおたんこなす、福岡博多の梅の実わかめ、からし昆布、小松の美野里さん卵、お祭り時期にはテリイ伊藤の卵焼きなどがござれ市のヒット商品です。

朝6時半頃から準備をします。何しろ屋台から作らなくてはなりません。日頃は作業場兼駐車場ですので、きれいに掃いて水をまいて、屋台を作り、少し体裁をつけ布をかぶせてそれなりの店構えにして野菜の端さん、つけものとおにぎりの喫茶店の茶夢さん、イタリアンのボンゴレロッソさん、その他の方が持ち込んでくるものと、市場から仕入れた商品を並べて「ござれ市」のオープンです。

お客様同士の炉端会議もあります。お互い近くにいるがござれ市でしか会えない方、病院の帰りの方、通りすがりに足を止めて寄ってくださる方、またお寺の帰りに寄ってくださる方々が足を運んでくださいます。

「こんな店いつからあった」と毎回のように聞かれます。土曜日だけだということを伝えると「この辺通ったときまた寄るね」と暖かい言葉を残していきます。

ところで採算はとなると、今は維持費が出るくらいです。しかしござれ市でのお客様との心のふれあいは、私どもの本業にいつかプラスになることだと信じております。



6月には「ござれ市」の商標登録の出願をしました。12月には登録番号がいただけると思います。その時はまた新しい展開ができるのではないかと考えています。厳しい今こそ小売商業等を営むものは、小異を捨てて大同につき、同業者も異業者も、また規模の大小を問わず、運命共同体としての一体感を持ち、地域の人たちが求めるものを最も身近に見知っている商店街が地域の生活者ともどもまちづくり・商店街づくりを積極的に進める時ではないでしょうか。

自ら考え、自ら汗を流し、元気を出すことががいや町を甦らすことになるのではないかと考えております。

石引商店街振興組合 ふたば会 山根 双美



## TOPIC 4 より良い街づくりを目指して 堅町の今後の課題

土・日・祝日は、3万人を超える人々が訪れ、県内は基より、近隣各県の若者層から「ファッション・ストリート」としてご愛顧いただいている「堅町商店街」。

しかし、ここ数年の相次ぐ郊外型大型店舗の進出や、ネット・ショッピングの普及等、商店街を取り巻く環境は日々変化し、従来の街づくりから、時流に即した街づくりへの対応が求められています。

「歩ける街づくり協定」に沿った、お客様が安心してストリートを往来できる環境を整備する事はもちろん、今の堅町に求められているのは、より多くの方に街を訪れていただくための「リーシング」の問題です。

堅町ではこれまでも、「リーシング」に対応する専門の委員会を発足し、大手のブランドや、人気ショップの誘致に勤めてきました。それに加えて現在目指しているのが、商店街内の回遊性アップと、滞留時間を増やす事が可能な店舗構成の実現です。

これまでメインだった、ファッションだけではなくはこだわらない、様々なジャンルの店舗の誘致と、飲食店の充実……。

これらを実現するためには、テナントさん、ビルのオーナーさん、そして不動産業者の皆さんとの協力が不可欠です。立場・事情の違う皆さんとの意見のすり合わせは、容易な事ではありませんが、「タテマチ」が、5年後、10年後も多くのお客様で賑わい、皆さんが笑顔で往来できる街づくりを目指し、商店街が一丸となって取り組んでいます。

堅町商店街振興組合 事務局次長 上野谷洋一



## TOPIC 5 「光そそぐガラスのアーケード」 ～金沢の中心街・片町から～



5月中旬、片町商店街の寿美田ビルにガラスの2階建てのアーケードが完成しました。既存のアーケードと違ってガラスを使い、太陽の光が歩道まで届いてとても明るくすっきりとした歩道が現れています。高さも2階まであるので、ビル自体が綺麗に映えます。来訪されるお客様も明るいので楽しい気分になるでしょう。

現在のアーケードは、昭和50年代に造られたものです。メンテナンスはしていますが、ガラスのアーケードと比べるとずいぶん重く暗い感じがします。

金沢駅前のガラスドームが「金沢のもてなしドーム」。ならば、ガラスのアーケードは「片町のもてなし」となるでしょう。このガラスのアーケードが片町商店街のこれからの明るい指標となれば良いと願います。街にいい風が吹くことを願っています。

片町商店街振興組合 理事 一ノ谷典子



## 平成19年度 第11回全国商店街青年部指導者研修会に参加して

「ラッセラー、ラッセラ！ラッセ、ラッセ、ラッセラ！」

勢いのある掛け声と熱気。本物を見たことのない私が、はじめてこの掛け声を耳にしたのは、子供の運動会の出し物でした。

今回の青年部指導者研修は我々には「ねぶたの街」の印象が強い青森での開催です。

この掛け声の街、さぞかし「熱い人間の」街なのだろうと金沢から950\*を車で向かいました。東北道を登り、青森に近づくとほとんどの車が八戸方向へ。現在の青森は、ねぶたの熱気どころか、かなりの過疎に悩まされている街なのだそうです。

早めに着いたので、駅のあたりを散策・・・しようにも、あまりに小さな駅。

そこで、街中をぶらぶらしてみることにしました。

もちろん、最近開発されたであろう大きな建物もチラホラあるのですが、私の目に留まったのは、まさに「昭和」の町並み。そして、そこで商いを続けてらっしゃる方々。

歩道イッパイに野菜を並べる八百屋さん、軒先にクリーニング屋さんのようなハンガーに洋服を吊る洋品店、これまた、買うことがためらわれるくらい直射日光を浴び続ける魚たち。正直、戸惑いました。「これが商店街か？」とも。



研修会場では青森市内の現状、取り組みを聞くことができ、コンパクトシティ構想、あきんど隊の活動、とても前向きな内容のお話にうなずいていました。

青森市は現在、行政からと商店街からの2つのアプローチでまちづくりが進んでいます。

行政側からは「コンパクトシティ構想」を基本とした活性化策です。これについては、佐々木市長みずからの講演で聞くことができました。豪雪地帯である青森市では、街が広がると、その除雪費用だけで莫大な財政圧迫になるということも話しておられました。

その構想の象徴として、「アウガ」と「パサーージュ」が位置づけられます。

また、もう一方の活性化は全国でも知る人の多い、「まちづくりあきんど隊 隊長 加藤博氏」の講演です。加藤氏の熱の入った講演では、「やはり、まちづくりは人間が熱意を持つことだ」と改めて実感できる、すばらしい内容でした。

その後、数人ずつの組にわかれ、「パサーージュ広場」や「アウガ」と呼ばれる駅前再開発を実際に見学、説明を聞いて、出店している方の半数以上が県外資本とはいえ、アウガ自体はとてもすばらしいものだと思います。



確かに私の見た「昭和」の商店街は、キレイでも、現代的でもありません。しかし、何十年も商いを続け、いまだにそこで買い物をしてらっしゃる方がいるのです。その証拠に、空き店としてシャッターが下りている店は皆無でした。そう、ちゃんと「人間を感じる」。

「本当の青森らしさ」とは、なんなのか。「もしかしたら、あの昭和の街が本物ではないのか？」

「残すべきもの」、もう一度、我々も考え直してみる必要があるかもしれません。

武蔵商店街振興組合 副理事長 太田 有彦



## 商店街青年部女性部活性化講習会のご案内

県内各市では、中心市街地活性化協議会の立ち上げやその準備に、また中心市街地活性化基本計画の策定など、「改正まちづくり三法」によるまちづくりが正念場をむかえています。まちなかの再生を短期間のうちに果たし、まちづくりに、商店街活性化に様々な取り組み実践されておられる方を講師としてお招きし、セミナーを開催します。活性化のノウハウ、着眼など、これからのまちづくりに欠かせない盛りだくさんのお話しをお聞きし、まちづくりに、商店街活性化に、起爆剤としませんか。

- 日 時：平成19年10月24日（水）午後6時から
- 会 場：小松商工会議所
- 講 師：服部 年明氏  
株式会社まちづくり長野参与（前タウンマネージャー）  
有限会社リティルウォーク代表取締役
- テ ー マ：長野市のまちづくり～まちづくり長野の果たす役割～（未定）
- 参 加 費：無料
- 申し込み：当連合会までお申し込みください。

## 商店街近代化講習会のご案内

個店の活性化なくして商店街・まちの活性化はありません。新潟県湯沢町でキラッと輝く店舗経営で話題をまく傍ら、「異色経営者が語る」で超人気の講師です。「売れる店づくり!」、いままで誰も教えてくれなかった本当のことを教えます。勝ち組み店への最初の扉を開ける鍵、業績アップの仕掛けづくりなど、勝ち組みの経営者ならではの話しを聞くことができます。いま一度ご自身のお店に目をむけてみませんか。

- 日 時：平成19年11月6日（火）午後7時から
- 会 場：金沢ニューグランドホテル 4F 「相生」
- 講 師：高村 秀夫氏  
楽東株式会社 代表取締役社長
- テ ー マ：売れる店づくり・売れる経営（未定）
- 参 加 費：無料
- 申し込み：後日ご案内いたします。

## 地域活性化財源確保のためのストリート広告規制改革会議で緩和を答申

平成19年度措置として答申。

中心市街地活性化協議会、商店街組織、NPO法人、まちづくり団体が地域資源の保存・活用、防犯対策、子育て支援等多様な住民ニーズに答える取り組みが増加しているが、それらに必要な人材・活動を支える安定的な自主財源を確保する手段の一つとして、道路空間を有効活用し民間の自主的な地域活性化への取り組みを促進し、広告収入を街路灯や植栽の整備、オープンカフェなどの地域活性化イベントのために使用する場合の屋外広告物の占用について、道路管理者が道路占用許可を適切に判断できるよう、占用主体、占用場所、占用物件の構造などの占用認可基準を定め、周知すべきである。

は次のとおりです。

- 会津若松市中心市街地活性化協議会（19. 2. 21）
- 富良野市（19. 2. 21）
- 伊丹市（19. 2. 27）
- 奈良市（19. 3. 26）
- 新潟市（19. 3. 30）
- 甲府市（19. 4. 13）
- 帯広市（19. 5. 25）
- 鹿児島市（19. 5. 31）
- 白河市（19. 6. 29）
- あまがさき（19. 7. 17）
- 小松市（19. 7. 23）
- 那覇市（19. 7. 31）
- 小樽市（19. 2. 26）
- 宝塚市（19. 3. 19）
- 大田原市（19. 3. 28）
- 鳥取市（19. 4. 1）
- 浜松市（19. 4. 26）
- 北見市（19. 5. 28）
- 別府市（19. 6. 8）
- 越前市（19. 7. 6）
- 臼杵市（19. 7. 20）
- 千葉市（19. 7. 24）
- 越前おの（19. 7. 31）

## 中心市街地活性化協議会設置状況

改正中心市街地活性化法第15条に基づき、まちづくりの司令塔としての協議会の設置状況（平成19年2月から7月31日まで）について

## 中心市街地活性化基本計画認定（内閣府）状況～第3陣～

- 北海道帯広市、砂川市、千葉市、浜松市、和歌山市（19. 8. 27）

## こんな制度をご存知ですか？ <商業活性化アドバイザー派遣事業の活用>

	費 用	
	無料期間	有料期間（左期間超）
商業活性化アドバイザー派遣事業（中心市街地以外の商店街）	7人日まで	1日当り12700円 最長20人日まで
中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業（商店街）	8人日まで	1日当り12700円 最長25人日まで
中心市街地商業活性化アドバイザー派遣事業（協議会）	10人日まで	1日当り16700円 最長120人日まで
商店街事務局強化アドバイザー派遣事業	7人日まで	1日当り9700円 最長120人日まで

商店街活性化のためにまず何から手をつけたいかななどの相談、商店街イメージづくりの方法を知りたいなどの計画づくり、集客に役立つ効果的なイベントを研究したいなどの販促の促進など商業活性化に関し様々な知識・経験・ノウハウを持ったスペシャリストによるアドバイスが無料（期間超えた場合一部自己負担）で受けることが出来ます。

—お問い合わせ—  
独立行政法人中小企業基盤整備機構  
地域経済振興部コンサルティング課  
電話 03-5470-1533